

令和4年度

熊本大学病院  
看護師特定行為研修

受講者募集要項  
第3期生募集用

熊本大学病院

Kumamoto University Hospital

## 1. 特定行為研修の目的・目標

看護師特定行為研修を通して、安全安心で質の高い医療・看護を提供できる人材を育成することにより、先進的かつ高度な医療展開する大学病院において、さらに安全確実な医療を提供し、地域医療の質向上に貢献することを目的とします。

## 研修目標

1. 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
2. 地域医療及び高度医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力を養う。
3. 地域医療及び高度医療の現場において、問題解決にむけて、多職種と効果的に協働できる能力を養う。

## 2. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

- 1) 共通科目を全て履修し、筆記試験及び観察評価に合格すること。
- 2) 1)修了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験及び観察評価、一部の科目では実技試験に合格すること。

※本研修修了者には、保健師助産師看護師法第 37 条の 2 第 2 項 第 1 号に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

## 3. 定員

定員：10名（うち5名は熊本大学病院に勤務する看護師に限る。）

## 4. 研修期間と募集時期

研修期間：1年

なお、在籍期間は、最長2年間とします。

募集時期 年1回（11月頃予定）

## 5. 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、講義、演習または実習によって行います。共通科目修了後に区分別科目の受講開始となります。

1) 共通科目(必修科目): 特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:5 か月)

科目	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
臨床病態生理学	29	1		1	31
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45
フィジカルアセスメント	17.5	2	17.5	8	45
臨床薬理学	32.5	11.5		1	45
疾病・臨床病態概論	37	3		1	31
医療安全学/特定行為実践	22.5	17	3.5	2	45
合計	165	50.5	22	14.5	252

\* 共通科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する必要があります。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす必要があります。実習は関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす必要があります。その後、科目修了試験に合格することが修了要件となります。

2) 区分別科目(必修科目): 外科術後病棟管理領域パッケージ

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:6 か月)

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	8	—	5 症例	1	9+ 5 症例
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連※	13.5	2	5 症例 × 2 行為	1.5	17+ 10 症例
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連※	7	—	5 症例	1	8+ 5 症例
胸腔ドレーン管理関連	10.5	1	5 症例 × 2 行為	1.5	13+ 10 症例
腹腔ドレーン管理関連	7	—	5 症例	1	8+ 5 症例

栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連	6	—	5 症例	1	7+ 5 症例
栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射 用カテーテル管理)関連※	7	—	5 症例	1	8+ 5 症例
創部ドレーン管理関連	5	—	5 症例	1	6+ 5 症例
動脈血液ガス分析関連※	8	—	5 症例	1	9+ 5 症例
栄養及び水分管理に係る薬 剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例
循環動態に係る薬剤投与関 連	11	3	5 症例 ×2 行為	2	16+ 10 症例

(※OSCE 実施科目)

\* 区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する必要があります。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす必要があります。患者に対する実技実習は関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす必要があります。OSCE のある科目に関しては、患者に対する実技実習の前に OSCE に合格する必要があります。その後、科目修了試験に合格することが修了要件となります。

## 6. 研修場所

症例取得に係る実技実習を含め、熊本大学病院内の施設で行います。

なお、実習期間中(約 3 ヶ月を予定)は、平日(月～金)、8:00～16:45 まで本院に常駐していただくこととなります。本院以外の施設から応募される際は、ご配慮いただきますようお願いいたします。

※e-ラーニングは自宅や自身の職場でも受講可能です。

## 7. 募集受講生の今後の日程(目安)

令和4年2月8日 面接

令和4年3月上旬 受講者決定通知

～令和4年4月4日 受講料納付期限

令和4年4月上旬 入講式・オリエンテーション、共通科目受講開始

令和4年8月下旬 共通科目修了判定

令和4年9月上旬 区分別科目受講開始

令和4年10月上旬 実習開始

令和5年3月下旬 区分別科目修了判定・修了式

## 8. 受講資格

次の①から③のいずれの要件も満たしていることが必要です。

- ①看護師免許を有すること
- ②看護師の免許取得後、通算5年以上の看護実務経験を有すること
- ③所属長の推薦を有すること

## 9. 出願手続き

### 【出願書類請求方法】

熊本大学病院ホームページから必要書類をダウンロードしてください。

ホームページ <http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/>

### 【提出書類】

- 1) 申請書(別記様式 1)
- 2) 履歴書(別記様式 2)
- 3) 受講志願理由書(別記様式 3)
- 4) 推薦書(別記様式 4)
- 5) 職務経歴書(別記様式 5)
- 6) 看護師免許証(写)
- 7) 角形2号封筒(460円切手貼付(簡易書留代含む))

送付先住所・氏名を明記すること

※提出の書類の返却は行いません。

### 【送付先】

〒860-8556

熊本市中央区本荘 1-1-1

熊本大学病院 総務課 地域支援担当

※必ず「郵便書留」で送付するか、直接持参してください。

電話:096-373-5663 (問合せ窓口)

### 【出願手続き締め切り】

令和4年1月21日(金)必着

## 10. 選考方法

書類選考及び面接により行います。選考結果については、本人宛て簡易書留にて郵送予定です。電話や FAX での可否の問い合わせには応じられません。

## 11. 受講料について

受講料(消費税込)は、選考結果通知送付時、本院から送付する納付書に基づき、お振込みください。

### 【受講料金額】

- ① 共通科目の受講料 一括 330,000 円
- ② 区分別科目(外科術後病棟管理領域パッケージ)の受講料 一括 454,300 円

※納めた受講料は原則として返還しません。

※研修のための宿泊及び交通費等は各自にて実費負担となります。

### ●個人情報の取り扱いについて

熊本大学病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

※受講するにあたって、看護職賠償責任保険への加入が必要です。

また、研修の受講前に各種感染症に係る免疫確認をさせていただきます。

各自で準備をお願いいたします。

## アクセス



### 交通案内

【 JR 熊本駅から 】「大学病院前」下車

熊本都市バス：熊本都市バス 第一環状線【O2-0】もしくは中央環状線【O3-0】【O3-1】

熊本駅長嶺線【H4-1】、熊本駅県庁線【K6-0】

【 桜町バスターミナルから 】「大学病院前」下車

熊本都市バス：流通団地線【P2-1】もしくは八王寺環状線【P0-0】

### 熊本大学病院

〒860-8556

熊本市中央区本荘 1-1-1

熊本大学病院 総務課 地域支援担当

TEL. 096-373-5663(お問い合わせ先)